

取組の背景

- (全道)
- ・農地・農業施設の経年変化による機能低下が顕在化
 - ・気象変動による農業被害の頻発による基盤整備要望の増加
 - ・地域裁量を拡大する国の新たな予算制度創設
 - ・機能診断などに基づく計画的な補修・更新によるライフサイクルコスト低減
- (鹿追)
- ・基盤整備にあわせ、交換分合やコントラクタ等の担い手対策や、耕畜連携の取組、生産者の経営努力を通じて、約50ha/戸の大規模経営を実現
 - ・農業機械の大型化により耕地土壌の堅密化が著しく排水不良の要因に
 - ・凹凸地形や湧水等により排水路の新たな整備要望も

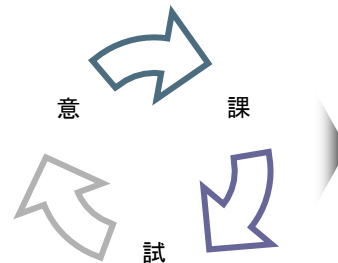
農地施設保全整備情報



GIS(地理情報システム)により
基盤整備履歴や各種情報を「見える化」
情報共有ツールとして活用(試行段階)

【データの一例】

航空写真、農地筆、地形図、標高、主要道路、
河川、水路、耕地土壌、整備履歴(経過年数、
整備水準、設計図)、農振区域、環境(植生、
環境保全区域、水質)、埋蔵文化財、公共施設、
測量基準点

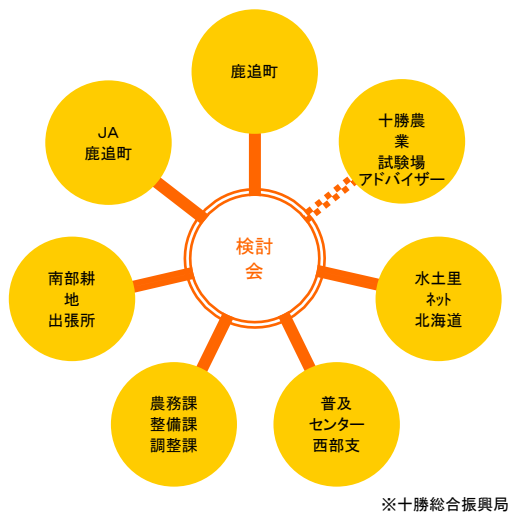


運用開始

情報交換と連携の場づくり

鹿追地域農業生産基盤整備方向検討会 (平成23年度～)

目的
鹿追地域の農業生産基盤に関する諸課題に
に対し、関係団体の連携のもと、総合的な対策
の検討と実践により、生産性の維持向上を図る。
(事務局:十勝総合振興局)



当面の構成

地域課題について情報交換

- 検討会で取り扱う範囲は基盤整備。
- 当面の課題は排水対策。
- 活動の基本的な考え方を確認



H24.3.22 第1回検討会

研修会・懇談会の実施方針確認

H24.7.18
第2回検討会

排水対策現地研修会の開催

H24.10.26
開催予定

各集落懇談会等での話題提供

H25.1.中旬
開催予定

地域別排水機能評価と対策検討

H25.2月以降

- 自然的条件
地形・耕地土壌・降雨形態等
(降雨形態は将来予測を含む)
- 基盤整備状況
暗さ・整備水準、排水路密度等
- 営農状況
湿害発生、心土破碎実施ほ場、
収量・品質等

- 整備・営農の両面から対策の
方向性と支援の具体案を検討
- 課題整理と解決手法の検討

各部門の連携による取組実践

地域の生産性向上を支援

総合的排水対策検討業務

- 平成24年度
- 局所的降雨実態についての観測
 - ・雨量計設置(東瓜幕)
 - 農地・施設の安全度評価
 - ・排水路機能診断(北鹿追)
 - ・農地の排水性診断(北鹿追ほか)
 - リスクマップづくり
 - ・表土流失マップなど
 - 地域別対策提案
 - ・評価結果に基づく対策提案

受託者 (株)ズコーシャ
受託期間 H24.7～H25.2



リスクマップ等の情報提供

農業農村整備技術検討会
地球温暖化対策検討部会(事務局:道農政部農村計画課)

平成24～26年度

排水に関する適応策検討

平成27年度

温暖化による気候変動
に対応した農業生産
基盤整備の推進

※基盤整備実施ほ場での農業生産における温室効果ガス削減や、
気候変動に適応した農地・農業水利施設の整備や保全管理に向けて、
設計指針改訂、排水施設維持管理マニュアル作成を検討。